

っている人たちに呼びかけていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

横山議員。

○3番（横山人美君）

ありがとうございました。子供たち一人一人の笑顔が輝く糸魚川であるために、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

以上で、質問を終わりたいと思ひます。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、横山議員の質問が終わりました。

関連質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

関連質問なしと認めます。

昼食時限のため、暫時休憩いたします。

再開を1時といたします。

〈午後0時00分 休憩〉

〈午後1時00分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、渡辺栄一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。〔8番 渡辺栄一君登壇〕

○8番（渡辺栄一君）

渡辺栄一でございます。市民の皆様をはじめ、いろいろな方々のお知恵を賜りながら、稼げるまち、人口増を目指し、結果、緑の交流都市、さわやか、健やか、輝きのまちへ寄与してまいりたいと存じます。

発言通告書に基づき、1回目の質問を行います。

1番目は、新たな仕事を生み出す対策について。

未来の人材確保及び教育について、米田市長の公約に基づき、お考えを伺います。

全国的な課題となっておりますが、人口減少が進んでいることは、多くの皆さんの共通した認識であります。当糸魚川市におきましても、平成17年3月の市町合併以来、人口減少と高齢化が著しく進んでおり、本来、にぎやかであるべき駅前の日本海口、南アルプス口を見ましても、閑散とした状態が、ここ何年も続いているように感じております。この減少と併せて、新型コロナウイルス

スの影響により、経済活動への影響や感染防止の観点から、私たちの生活様式も大きな変化を迫られました。このような状況下において、雇用の状況にも影響があることから、新たな仕事を生み出す対策が必要と考えます。

あわせて、人口減少下での人材確保と未来を担う人材の教育を踏まえて、以下の点について伺います。

- (1) サテライトオフィス、ワーケーション対応の環境整備で十分なのか。
- (2) 市長が選挙公約に掲げている当市内に看護師養成学校、もしくは看護師養成所の設立を目指すとするが、任期中に行うのか否か。
- (3) 市長の公営塾開設構想とは、具体的にどのようなものなのか。

2番目の質問であります。官製談合事件に絡む庁舎内のコンプライアンス体制及び火打山麓振興株式会社でのパワハラ疑惑についてであります。

官製談合については、県内でも発生し、教訓が生かされることなく、残念ながら糸魚川市においても、このような事案が発生し、行政の信頼を大きく失墜する事態となりました。

また、このタイミングで一部の報道機関では、第三セクターにおけるパワハラの報道がありました。

早期の原因究明と再発防止に向けて、取組を進めることをお願いしながら、次の点について伺います。

- (1) 職場内でのコンプライアンス体制は、どのようになっているのか。職員が、ふだんより十分意識されているのか。
- (2) 当該第三セクターの案件について承知しているのか。人選に問題はなかったか、今後の対応について考えはあるか。

以上、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

渡辺議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、コロナ禍で普及したテレワークにより、新しい人の流れと産業の創出が期待できる取組であります。企業誘致や創業支援等にも、引き続き取り組んでまいります。

2点目につきましては、任期中の実現を目指し、関係機関と協議を進めてまいります。

3点目につきましては、高校の魅力化を進めるための手法の一つであり、生徒の学びをサポートする場を市が設置するものであります。学力のみならず、地域の皆様とともに地域課題を解決する学びを提供することにより、学習意欲の向上、地域の担い手の育成などを進めるもので、生徒が望む進路の実現、社会で必要な力やスキルを身につけるためでもあります。

2番目の1点目につきましては、職員不祥事防止のための行動指針で、職員の行動規範や管理監督者の心構えなどを定めておりますが、第三者委員会の意見を踏まえた上で組織としての体制を強化してまいりたいと考えております。

2点目につきましては、報道の事実確認を社長及び事務職員等に行ったところ、そのような事実はなく、運営上、特に問題はないことを確認いたしております。

なお、社長の人選につきましては、当該株式会社で選任されたものであります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長の答弁もありますのでよろしくお願いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

それでは、2回目の質問に入ります。

1番目の質問についてであります。サテライトオフィスワーケーション対応で、公民連携プラットフォームを市長公約に掲げておられますが、私は、企業誘致を全庁挙げて取り組むべきだと考えておりますけども、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

サテライトオフィスの整備につきましては、地方への新しい人の流れをつくる取組の一環でありまして、今、国の動きの中で、本市としても新しい流れをつくるべく、進めていくところであります。当然、従来からの企業誘致ですとか、創業支援等につきましても、引き続き、進めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

今まで企業誘致といいますか、されて、成功例というんでしょうか、何かそういったことというのはありますでしょうか。あったら教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

過去から企業誘致を進めてきておりまして、幾つかの企業からおいでいただいております。最近では、工場の増設ですとか、新たな工場立地等のケースはございますが、新規の企業誘致ということまでは至っていない状況であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

私、企業誘致にこだわるのは、大変今、糸魚川市の人口が6月時点の広報を見ますと、4万908人となっております。毎月広報を見ながら気にして見てるんですけども、毎月50人とか60人とか、減っておるんですね。このまま減っていきますと、本当に何て言うんでしょうか、もう4万人、今年はまだ4万人は切らないと思うんですけども、来年からは恐らく4万人を切ってしまうと、そうすると例えば糸魚川市を見たときに、糸魚川市というのはどういう町だと言われて、人口が4万人ですというのと、3万9,999というのと、やっぱりちょっと違ってくると思うんですね。それで、私は本当にこれ何て言うんでしょうか、企業誘致といいますか、本当に働く場といいますか、やっぱり若い人にこの町に来てもらわないと、なかなか人口も、全国的だからもうしょうがないと言ったら変な言い方ですけども、それだとやっぱりちょっと違うんじゃないかと思うんですね。やっぱり努力といいますか、そういうことをして、成果を出して、結果を出していくというのが、本来のあれではないか、姿ではないかと思っておりますので、そこら辺はいかがなんでしょうか。やっぱり糸魚川というのは、魅力がないんでしょうか。お伺いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

企業誘致につきましては、これまで民間企業からも直接お話をいただいたり、また、県の東京事務所等を通じまして、お話をいただいたりということもございます。

企業の新設につきましては、立地の環境ですとか自治体の支援制度のほかにも、企業の経営のリスク回避の観点ですとか、労働力の確保、あと医療や教育のレベル等、いろんな判断材料があるかというふうに思っておりますので、市全体で取り組むべき必要があるというふうに感じておりますし、これからも取り組んでいきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

本当に私、残念に思っておるのが、この町は、新幹線が止まる町なんですね。それで、今は1時間に1本とまっておって、本当に地方都市でも新幹線が止まるというのは、そうないと私はないと思っておるし、やっぱりもっと胸を張って、糸魚川は、本当に新幹線が止まるんだと。それでなおかつ、この人口減といいますか、本当に歯がゆいといいますか、そういうふうに思っておるんですけども、そこら辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

現在のコロナ禍においては、リモートワークということも最近言われておりますけども、やはり人と人が対面する上で、新幹線ですとか高速道路という高速交通体系は、アドバンテージになるというふうに思っております。

ただ、それだけではございませんので、やっぱりそういう何ていいますか、ワーケーションだったりテレワーク等を通じて、企業との関係を築く中で、新たな企業誘致に進めていく一歩にしたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

本当に郷土愛というわけじゃないですけども、やはり糸魚川が、これ以上ちょっと人口が減ってしまうと、本当に物足りないというわけじゃない、本当にさみしい町になってしまいますんで、ぜひやっぱり皆さん何らかの目的を持って、糸魚川市の職員になられてるかと思えますんで、ぜひ今後も企業誘致といえますか、ぜひ力を入れていっていただきたいと思えます。

2番目の（2）に関して、質問させていただきます。

看護師養成所についてであります。看護師養成所の規模について、何人ぐらいの学生を見込んでおりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

市長の答弁のとおり、公約の実現に向けて取り組んでいくわけですけども、多くはこれからだということと考えております。

令和2年度に県立十日町看護専門学校というのが設立されて、スタートしております。そこでの定員というのは40名でありますので、もし仮に、そういう専門学校を設立するとなれば、その程度の規模が必要だというふうに理解しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

場所について、どこら辺りを想定されておるのか、具体的な青写真がありましたらお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

今ほど答弁させていただきましたように、多くはこれからということであります。

したがいまして、現状では、特に場所をここというような形での絞った検討というのはしておりません。

ただ、いろんな公共施設であるとか、空きスペースであるとか、そういうものの活用というのは、考えられるのかなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

ちょっとまだ具体的にはというようなことなんですけども、それだと本当に市長の任期中に間に合うのでしょうかと、大変心配というわけじゃないですけども。米田市長は公約にもうたっているとおおり、実績は信頼というようなことも書かれておりますので、やはりスピード感を持ってやってほしいというふうに思っておるんですけど、まだちょっとそんな段階だと、恐らく任期中にやれるのかなというふうに思うんですけども、そこら辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

そう簡単に取り組める問題じゃないことは、承知の上であります。

しかし、どうしてもやはり地域のこの実情を考えたときに、取り組まざるを得ないという気持ちで今関わっているわけございまして、財源の問題、そしてまた、教師の皆さんの体制、いろんな課題がございます。そういう中で、それを一つずつ連携、職員と一体となって取り組んで、また関係機関との連携も必要でございます。ですから、そう一朝一夕に今日言って明日できるようなものではないことは承知の上で取り組んでおります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

おっしゃるのは、そうかとは思いますが、特に今回、看護師養成所というようなことなんですけども、やっぱりほかの専門学校もぜひ誘致、お願いしていきたいと思っておるんですけども、そこら辺の考えはないのでしょうか。看護師養成学校以外に、何か考えるものというのはないのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

やはり地域の子供たちの夢を実現するためには、やはり学ぶ場が絶対必要であるわけでありまして。当然、高校、そしてまたさらに専門学校であったり、短期大学であったり、大学だったり、いろいろそういう施設が必要であるわけでありまして。

しかし、糸魚川市の都市において、なかなか難しい現状があるわけでありまして。そういう中で、特に今回、看護師の養成所、学校等につきましては、これはもう地域の中の地域医療を守っていく

上で、そしてまた、この子供たちがそういったものを目指しておるといふ数多くの子供たちがいるわけではございますので、そういったところを捉えながら、今それに向かって進めていきたいと手を挙げさせていただいたわけでありませう。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

なかなかすぐには難しいというふうな事なんですけれども、それに関しましては、賜りました。賜りましたといいますか、ちょっとそこら辺は今後も、前向きにといいませうか、ぜひやっていただきたいというふうに思っております。

それでは、（3）番目でございます。公営塾について、市長答弁にございましたけれども、いま一度、公営塾の目指すところを伺いたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

公営塾につきましては、市長の答弁のとおりで、高校魅力化の手法の一つでありまして、先進の島根で成果を、公営塾を含めた高校の魅力化の取組で、要は高校の志願者がV字回復したというところで成果を上げているところであります。

学力、要は知識・技能だけではなくて、地域とともに地域課題を解決したり、地域に開かれた学校にすることによって、多くの方が関わるということで、子供たちも地域に入って探求をして、社会に出てからも必要なスキルを学ぶものであります。そういったところを今、公営塾として目指して、具体的にはまだこれから今検討しておりますが、取り組んでいきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

何か塾といいますと、民間の学習塾をイメージしておりますけれども、そんなふうにイメージしたんですけど、そういった違いはないということなんではございませうか、何か違いはどんなところにあるというふうに、伺いたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

放課後などを利用して、生徒が望む学びの場を提供して、生徒が希望する進路を実現すると、ちょっと抽象的になりますけれども。そここのところは、やはり学習塾と変わらないのかなというふうに思っておりますが、学び方、今ほど言いました学び方を、やはりすみ分けをしてやるのが重要

だというふうに思っています。これからの新しい時代を生きるためには、やっぱり子供たちというのは、本当に単なる学力だけではなくて、意欲だったり判断力だったり、そういったスキルが求められるんだろうというふうに思っています。そういった力をつけていただくために、地域の方々と一緒に子供たちを育てていくといった手法といますか、そういったところを取り組んでいきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

ありがとうございました。

2番目の質問に入ります。

2番目は、コンプライアンスを中心に質問いたします。

通常の民間企業でございますと、コンプライアンス相談窓口というのは設置はされておるんですけども、糸魚川市役所には、そういった相談窓口というんでしょうか、設置はされていたのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

コンプライアンス相談窓口というような言い方ではないですが、いわゆる公益通報という形で相談を受ける窓口がございまして、総務課の中に存在しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

そういった相談というんでしょうか、そういったものはどういった内容のものがあつたんでしょうか。お聞かせいただければと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

相談内容につきましてですが、各部署においての担当する業務の実施であるとか、法令に関する解釈であるというのが主なものでございまして、いわゆるコンプライアンス、本物そのものというか、ものについての相談というよりは、業務を進める上での相談が主な問題でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）



渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

そうすると、例えばいろんな部分で、ハラスメントであるとかそういった相談というのは、ほとんどなかったということなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

総務課として窓口を設置しておりますが、具体的にそのような事例での相談はなかったということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

そうしますと、何ていうんでしょうか、そういった職員、パワハラだとかそういったものがなかったといたら変な言い方ですけども、そういう環境にはないというように受け止めてよろしいんでしょうか。それはいかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

全くなかったかと言われると、いわゆる相談窓口としてお受けしたことはございませんが、各課において、もしかしたらといいますか、そういうようなパワハラなり、モラハラなりという事例があったかもしれませんが、それにつきましては、いわゆる課内なり係内で相談をした上で解決に至ってるものというふうに理解しておりまして、総務課まで上がってきた事例はないというような解釈でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

どうしてしつこく聞くかといいますと、これ以上、市役所の中からこういった不幸な人を出さないためにも、やっぱり何ていうんでしょうか、そういうことでちょっと根掘り葉掘り聞いてるわけございまして、特に何かというあれではないのであります。ので、やはりこういった職員のこういった悩み事といいますか、そういったものをやっぱりきちっと把握、あるいは相談しやすい環境づくりというんでしょうか、物が言いにくくなると、どうしてもそういったちょっと変なほうに進んでしまうということございまして、それによって今回、本当に市のイメージというのが本当

にちょっと悪くなってしまっていて、本当にみんなよくしよう、よくしようと思って努力してるにもかかわらず、こういった形で足を引っ張ると言ったら変な言い方ですけども、そうなってしまうと本当に今までの苦労が水の泡になってしまっていて、本当に市のイメージが悪くなってしまおうということでございますので、それでしつこく聞いてるところであります。

あと、今回、本当に仕事によって利権関係といったら変な言い方ですけども、事業者と接触する機会があると思うんですけども、そこら辺の距離感というんでしょうか、そういった緊張感というわけじゃないですけども、そういったマニュアルみたいなもの、そういったものはあるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

いわゆる事業者との接触の在り方につきましてですが、いわゆる不祥事防止のための行動指針やチェックリストにおきましては、利害関係者との必要以上の接触を持たないとか、利害関係者との接触は複数で行うなどを示しておりますし、職員倫理規程においては、関係者との会食などの禁止をうたっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

今回、入札の結果の公表について1年と聞いておりますけども、もう少し過去に遡ってもよいと思うんですけども、そこら辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

お答えいたします。

入札結果の公表については、事後公表ということで、要領に定めまして1年ということで決めさせていただいております。基本的には、県のを準拠した形で1年となっておりますが、今回の件も踏まえまして、今後どうするかというのはちょっと検討したいと思っておりますし、別に公表の時期を延ばすのは、やぶさかではないかとは考えております。

ただ、入札の件、電子入札利用しておりますので、こちらのほうでの公表というのは、1年ということになっていきますので、その辺も勘案して検討してまいりたいと考えます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

いたずらにというとな変な言い方ですけども、意図的に延ばすというとな変な言い方ですよ。やっぱり何かあったときは、やっぱりオープンに早く出したほうがいいと思うんですね。後々、何かまた出てしまったときに、またうそをつかなきゃいけないといったら変な言い方ですけど、非常に今度、また修正するのもこれは大変になってまいりますので、やはり早めに公表するのが大事だというふうに思っておりますけども、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

入札結果の公表につきましては、今現在、事後公表ということで取扱いのほうをさせていただいております。

ただ、議員おっしゃるような早め早めとか、何かあったときということで対応のほうを急ぐようにというご指摘だと思います。そちらのほうは十分検討してまいりたいと思いますし、極力早めにデータといいますか、そういった情報のほうは提供してまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

ありがとうございます。あと、本当に今回のコンプライアンスにあまり関係はないかもしれませんが、私、こないだの夜、ちょうど下早川の運動広場というようなところありまして、そこでちょっと何をやってんのかなと思ってちょっと見にいきましたら、子供たちが野球をやっておりまして、それでちょうど8時ちょっと前でしたけれども、私はマスクしていたんですけども、子供たちが3名ぐらい寄ってきてまして、マスクをして、夜だったにもかかわらず、選挙の渡辺栄一だというようなことを言われまして、本当にマスクしてても分かるんだなみたいな感じで、本当に子供には、うそつけないんだなというふうにつくづく思いまして、本当にああいう素直な目で見られてしまいますと、本当に私もいやちょっと参ったというか、そんなふうに感じております。本当に子供の何ていうんでしょうか、少し胸を張って言えるような、そういう町になってもらいたいというふうに願ってやみません。

本当にこの町が、本当に少しでもよくなるようにといいますか、本当に人口も今4万ちょっとで厳しいですけども、何とか1名でも2名でも糸魚川がいいといいますか、寄ってきていただけるといいですか、本当に人口増につなげるような施策をどんどん打って、矢継ぎ早に打っていただくしかないんですね。そうしないと本当に4万人だというのと3万ちょっと、3万幾つというとな全然違ってくるわけですので、ぜひ今回、この2点に絞らせていただきましたけれども、ぜひこの町が少しでも前へ前へ進めるように、ぜひとも皆さんのお知恵を賜って、少しでも糸魚川市がよくなるようにやっていっていただきたいというふうに思っております。

これで、私の一般質問を終わります。ありがとうございます。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、渡辺議員の質問が終わりました。